

令和8年度 シラバス

教 科	芸術	科 目	書道Ⅱ	学 年	第2学年	学 科 類 型	普通科文系
単位数	1 単位	教科書	書道Ⅱ（大修館書店）				
副教材							

学習目標	書道Ⅰの学習内容をさらに発展させ学習します。漢字の学習では篆書・隸書・草書の古典学習を中心に行います。また、既習の学習内容を生かし、より作品効果を高めた表現活動が行えるよう、多様な文字造形や用筆の習得を目指します。自らの作品イメージを、文字という素材を使ってどのように具現化するのか等、思考し創造する力を養います。
------	---

キャリア教育の視点	日常生活の中で、私たちは様々な文字に触れています。文字を見て、美しいと感じるのはなぜでしょうか？文字の変遷過程を追っていくと、その時代に生きた人たちの思想や文化、風土等様々な要素が関連して形作られていることが分かります。幅広い書を学ぶことで、様々な美の要素を味わい、表現する楽しみを持つきっかけとしてもらいたいと思います。
-----------	---

		学習計画及び内容		考 査
1 学 期	4月	書的美を求めて 漢字の書（篆書）	漢字の各書体の特徴について学習します。	書道展に出品 作品提出 鑑賞会 作品提出 ワークシート
	5月		篆書（甲骨文・金文・大篆）の鑑賞と臨書を行います。	
	6月		隸書（八分隸・木簡）の鑑賞と臨書を行います。	
	7月	漢字の書	木簡を題材とし、倣書作品を制作し、鑑賞を行います。 作品の鑑賞を行います。	
2 学 期	8月	篆刻の学習	自分の名前から好きな漢字（平仮名）を一文 字選択し、印を制作します。	作品提出 ワークシート 作品提出 ワークシート 書道展に出品 作品提出 ノート提出
	9月	漢字の書（草書）	唐時代の草書の鑑賞と臨書を行います。	
	10月	漢字の書（行書）	北宋時代の行書の鑑賞と臨書を行います。	
	11月	漢字の書（楷書）	学習した古典から一作品選び、半切サイズの 画仙紙に臨書を行います。	
	12月	仮名の書	書道Ⅰの学習からさらに発展させ、様々な作 品形式を学び、古筆を中心とした鑑賞及び臨書 学習を行います。	
3 学 期	1月	漢字仮名交じりの書	題材、用具・用材を選択し、作品を効果的に 見せる構成を考え、漢字仮名交じりの書の創作 作品を制作します。 作品完成後には鑑賞会を行います。	ワークシート 作品提出 鑑賞会
	2月			
	3月			

学習の方法	授業中の活動が中心となりますので、積極的に取り組んで下さい。実技においては古典臨書が中心となります。文字を分析しながら、古典の特徴や書の美しさを感じ取り、表現します。その中で歴史的背景や人物像なども学習します。作品完成後には、相互評価や自己評価、鑑賞会など学習の振り返りを行います。
-------	---

評価の仕方	定期考査は行いません。 知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	A表現（完成作品、創造的な技能） A表現（主題意図と工夫） B鑑賞（鑑賞活動、発表内容） A表現（活動状況、提出物、発表、作品の工夫） B鑑賞（鑑賞の発表、協働的な活動状況、感想）	B鑑賞（ノート、自己評価）
-------	---	--	---------------

備考	材料費として、1,500円徴収します。大筆・小筆は書道Ⅰで使用していたものを個人で用意してください。
----	--

